

アドバンスト・インフォ・サービス(ADVANCn)

創立35周年を機に経営陣を刷新。デジタル金融へ本格参入。通信事業の顧客基盤を金融サービスに活用
 タイ | 無線通信 | 業績フォロー

BLOOMBERG ADVANC:TB | REUTERS ADVANCn.BK

- 2025/12期4Qは、総収益が前年同期比5.0%増、EBITDAが同8.9%増。ARPU、契約者数ともに増加。粗利益率、売上高販管費率ともに改善。
- 2025年4月に民間電力大手ガルフ・デベロップメントが筆頭株主となり、通信事業の多角化と電力事業の相乗効果を目指している。
- 創立35周年を機に経営陣を刷新。通信事業の顧客基盤を金融サービスに活用する多角化戦略の実践としてデジタル金融への参入を本格始動。

What is the news?

2/3発表の2025/12期4Q(10-12月)は、総収益が前年同期比5.0%増の595億THB、EBITDAが同8.9%増の315億THB、純利益が同54.2%増の142億THB。12月末のモバイル契約ユーザー数が2.2%増(46.7百万人)に拡大したほか、月当たりの1ユーザー平均収入が5.5%増加したことが増収に寄与した。利益面では粗利益率が5.2ポイント上昇の40.6%へ、売上高販管費率が1.8ポイント低下の11.5%へそれぞれ改善したことに加え、金融費用が13%減少したことが増益に寄与した。前四半期比では、総収益が9.5%減、EBITDAが0.4%増、純利益が18.6%増だった。

4Qの売上高の主な内訳項目は以下の通り。①モバイル通信収入は前年同期比7.3%増の340億THB。通信ネットワークの質向上戦略の下、高付加価値サービスのクロスセリングが貢献した。②固定ブロードバンド通信収入は、高付加価値パッケージ化に加えてブロードバンド大手TTTBB買収効果により同9.2%増の82.9億THB。③大企業向け事業からのエンタープライズ収入は、同様にTTTBB買収効果もあり同2.3%増の19.8億THB。④相互接続(IC)収入およびTOT社との提携に係る機器レンタル収入は同68.6%減の10.5億THB。⑤SIM・端末販売収入は同19.0%増の136億THBだった。

How do we view this?

2026/12通期会社計画は、コアサービス収入(モバイル通信収入、固定ブロードバンド通信収入、その他サービス収入)の前期比伸び率が3-5%(前期実績6.7%)、EBITDAの伸び率が2-4%(同8.4%)、周波数帯域を除く資本的支出が300-350億THB(同260億THB)である。

2025年4月、民間電力大手ガルフ・デベロップメントと、アドバンスト・インフォ・サービス(AIS)の約40%の株式を保有する投資会社インタッチ・ホールディングスが合併。AISは、2023年に業界再編で発足したトゥルー・コミュニケーションに携帯電話の契約者数で逆転を許していたが、通信事業の多角化および電力事業との相乗効果で対抗する戦略だ。AI(人工知能)に重点注力し、米オラクルと提携してAIを含む100以上のクラウドサービスを企業に提供することを決めている。

同社は2025年10月の創立35周年を機に新世代リーダーシップ体制へ刷新。特に新規事業としてデジタル金融(仮想銀行)に本格参入する方針だ。「データ駆動型金融民主化」の経営方針の下、同社顧客の通信料・公共料金支払い履歴およびガルフの電力料金支払いデータも含め、通信事業の顧客基盤を金融サービスに活用する多角化戦略が注目される。

業績推移

※参考レート 1THB=4.95円

事業年度	2023/12	2024/12	2025/12	2026/12F	2027/12F
売上高(百万THB)	188,872	213,569	226,263	234,223	241,876
当期利益(百万THB)	29,086	35,075	47,885	51,706	55,340
EPS(THB)	9.78	11.79	16.10	17.41	18.55
PER(倍)	19.98	22.82	19.04	20.85	19.57
BPS(THB)	30.46	32.69	36.04	20.08	22.61
PBR(倍)	6.41	8.23	8.50	18.08	16.05
配当(THB)	8.61	10.61	15.30	16.28	17.48
配当利回り(%)	4.41	3.94	4.99	4.48	4.81

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB) **16.28** (予想はBloomberg)
 終値(THB) **363.00** 2026/4/14

会社概要

1986年創業。後に首相となるタクシン氏が携帯電話サービスの営業権をタイ政府から獲得して立ち上げた。売上高および市場シェアで2023年2月まではタイ最大規模の通信事業会社だった。

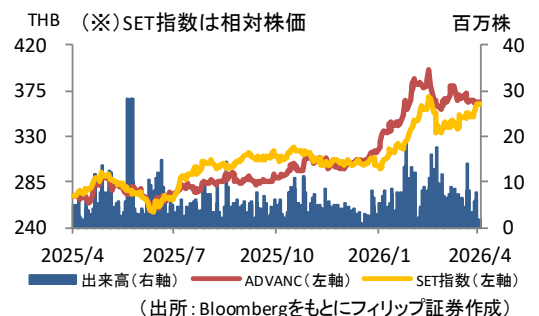
インタッチ・ホールディングスが筆頭株主だったが、2025年4月現在、民間発電大手ガルフ・エナジー・デベロップメントとインタッチが経営統合して「ガルフ・デベロップメント」が発足したことから、親会社となる筆頭株主はガルフ・デベロップメントである。

第2位株主は、テマセク・ホールディングス(シンガポール政府が所有する投資会社)傘下の通信会社であるシンガポール・テレコム(シングテル)であり、シングテルはアドバンスト・インフォ・サービスを「戦略的に重要な出資先である地域関連会社」と位置付けている。

モバイル通信、固定ブロードバンド通信、大企業向けその他サービスの3つを「コアサービス」として展開する。①モバイル通信サービスは、音声通話、モバイルデータ、WiFi、国際直接ダイヤル(IDD)、および国際ローミングを含む。②固定ブロードバンド通信は、2015年に「AIS Fiber」ブランドの下で開始された。③大企業向けその他サービスは、ビデオプラットフォーム、ビジネスクラウド、モバイルマネー、IoT、その他プラットフォームなどの分野に注力している。

企業データ(2026/4/15)

ベータ値	0.83
時価総額(百万THB)	1,079,638
企業価値=EV(百万THB)	1,245,988
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	2,929.4



主要株主(2026/4)

1. GULF DEVELOPMENTS LIMITED	40.44
2. テマセク・ホールディングス	19.10
3. STOCK EXCHANGE OF THAILAND	7.37

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

+81 3 3666 6980

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。